

Integration Unit 用対応基板 Available Kits for Integration Unit 製作マニュアル

<注意>

本キットをつかって生じた感電、火災等の一切のトラブルについては、当方は責任を負いませんのでご了承ください。また、基板、回路図、マニュアル等の著作権は放棄していませんので、その一部あるいは全体を無断で第三者に対して使用することはできません。

1. はじめに

ここでは、Integration Unitに接続可能な基板とそのための対应用制御 CPU の情報について提供します。なおバージョンならびに機能は予告なく変更する場合があります。

対応基板 (2020.5.7 時点)

No	基板名	対应用制御 CPU (PIC) ラベル	機能追加・制約事項等
1	SRC4137 (Asynchronous Sampling Rate Convertor)	SRC4137 Slave v1	・ソフトでの初期化メニュー追加
2	DAC4499 (D/A Convertor for AK4499)	DAC4499 Slave v1	・DIV5142 基板の赤外線リモコンは使用できません。
3	DIV5142 (4WAY 版)	DIV5142 Slave v1	・DIV5142 基板の赤外線リモコンは使用できません。
4	DIV5142 (2WAY, 1WAY 版)	DIV5142-2W Slave v1	・1WAY (BPF) として使えるように周波数 20~20000 の範囲を超える場合は THR モードも追加。 ・DIV5142 基板の赤外線リモコンは使用できません。
5	SRC4134 DAI 版	SRC4137DAI SLAVE v1	・ソフトでの初期化メニュー追加

2. 対応基板への接続方等

2-1. SRC4137

DAI, ASRC 基板である SRC4137 を Integration Unit 接続可能な制御用 CPU (PIC) です。

(1) Integration Unit との接続ポート

基板端子の P5 を用いて、INTEGRATION UNIT の UNIT 1 ~ 8 のいずれかに接続します。



図 Integration Unit との接続端子 (P5)

(2) ソフトウェア

PIC ラベル : SRC4137 Slave v1 (バージョンは適時変更する場合があります)。



図 PIC ラベル

機能内容 : ・ Integration Unit 接続専用です (基板上の LCD ならびに SW は使用しません)
・ SC2004 (20 × 4 文字) 対応 PIC (v3) と同等の表示。

機能追加 : ・ 初期化のコマンドを追加 (電源投入時の初期化ができなくなるため) しています。このメニューにおいて INC スイッチ (SW4) を押すことで初期化を行います。

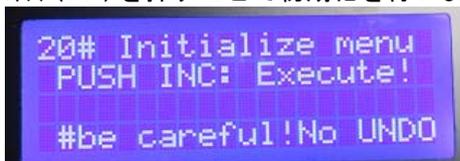


図 新たに追加した初期化メニュー

(3) その他

・ 未接続の入力を選択したときの周波数表示が乱れる部分を UNLOCK 表示に修正。

2-2. DAC4499

AK4499 を用いた DAC 基板である DAC4499 を Integration Unit 接続可能な制御用 CPU (PIC) です。DAC4499 と機能はほぼ同じで複数毎使用する場合にも対応しています。なお DAC4499 に接続する赤外線受光モジュールは使用しません。

(1) Integration Unit との接続ポート

基板端子の P1 を用いて、INTEGRATION UNIT の UNIT 1 ~ 8 のいずれかに接続します。ジャンパー設定は JP8-0 と JP8-1 を短絡させてください。

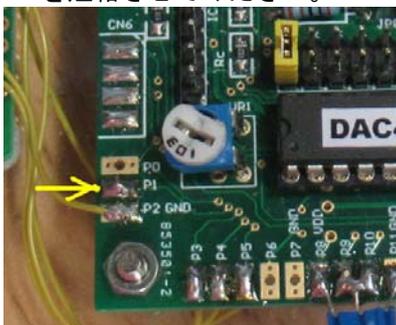


図 Integration Unit との接続端子(P1)

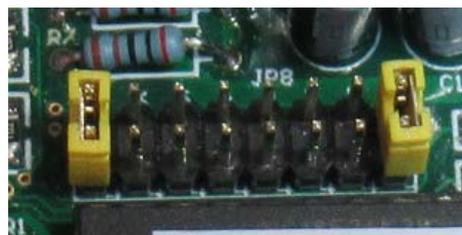


図 ジャンパー設定 (JP8-0, JP8-7 を接続)

(2) ソフトウェア

PIC 表示 : DAC4499 Slave v1 (バージョンは適時変更する場合があります)



図 PIC ラベル

機能内容 : ・ Integration Unit 接続可能です (基板上の LCD ならびに SW は使用しません)
・ DAC4499 の赤外線受光モジュールは使用しません。

(3) その他

・ Integration Unit 接続時には DAC4499 本体に取り付けた赤外線受光モジュールは使用しません。

2-3. DIV5142 (4WAY版)

最初にリリースしたDIV5142 (4WAY用のデジタルチャンネルデバイダ)のIR版(フィルター切替時のポップノイズを抑制)をベースにして、Integration Unitとの接続可能な制御用CPU(PIC)です。DIV5142の赤外線受光器は使用しません。

(1) Integration Unitとの接続ポート

基板端子のP12を用いて、INTEGRATION UNITのUNIT 1~8のいずれかに接続します。ジャンパー設定はJP3-3を短絡させてください。

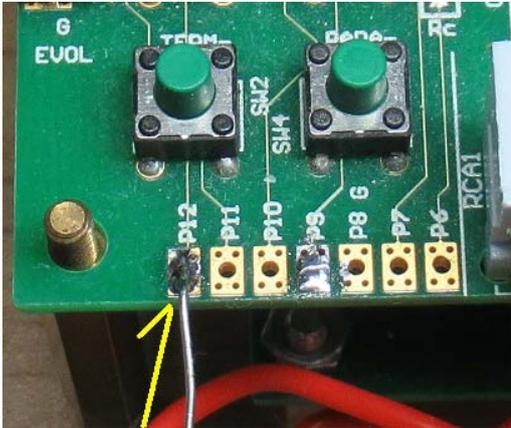


図 Integration Unit との接続端子(P12)

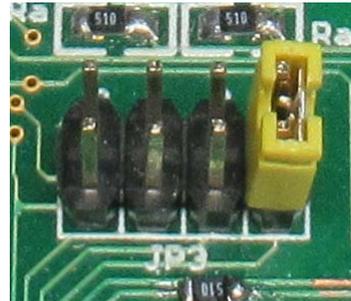


図 ジャンパー設定(JP3-3を接続)

(2) ソフトウェア

PIC表示: DIV5142 Slave v1 (バージョンは適時変更する場合があります)



図 PICラベル

機能内容: ・Integration Unit 接続可能です(基板上のLCDならびにLCDは使用しません)

(3) その他

- ・Integration Unit 接続時にはDIV5142本体に取り付けた赤外線受光モジュールは使用しません。
- ・Integration UnitとDIV5142ではSW並びでSW1, SW2およびSW3, SW4が反対になっているので、Integration Unitの接続するユニットのSWITCH SELECTメニューで「#2 SW2-SW1-SW4-SW3」を選択することで、他の基板と操作方が統一されます。

2-4. DIV5142 (2WAY, 1WAY 版)

DIV5142 を用いて高次フィルターが可能な 2WAY 版を Integration Unit との接続可能な制御用 CPU (PIC) です。1WAY (BPF) とするために、HPF あるいは LPF の THR (スルー) 機能も追加しています。DIV5142 の赤外線受光器は使用しません。

(1) Integration Unit との接続ポート

基板端子の P12 を用いて、INTEGRATION UNIT の UNIT 1 ~ 8 のいずれかに接続します。ジャンパー設定は JP3-3 を短絡させてください。

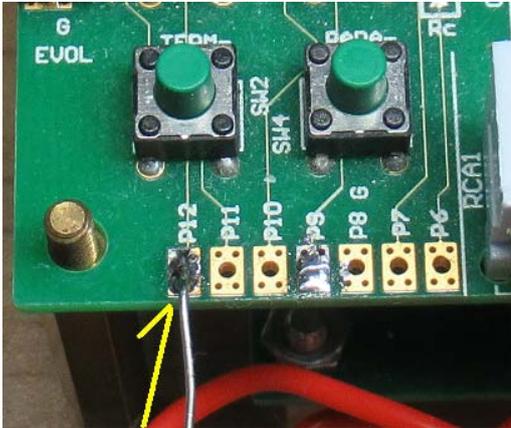


図 Integration Unit との接続端子 (P12)

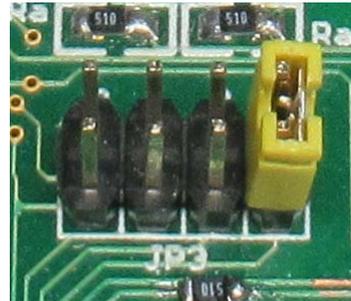


図 ジャンパー設定 (JP3-3 を接続)

(2) ソフトウェア

PIC 表示 : DAC4499 Slave v1 (バージョンは適時変更する場合があります)



図 PIC ラベル

機能内容 : ・ Integration Unit 接続可能です (基板上の LCD ならびに LCD は使用しません)
・ 1WAY (BPF) とするために、HPF あるいは LPF の THR (スルー) 機能も追加しています。

(3) その他

- ・ Integration Unit 接続時には DIV5142 本体に取り付けた赤外線受光モジュールは使用しません。
- ・ Intergraion Unit と DIV5142 では SW 並びで SW1, SW2 および SW3, SW4 が反対になっているので、Integration Unit の接続するユニットの SWITCH SELECT メニューで「#2 SW2-SW1-SW4-SW3」を選択することで、他の基板と操作方が統一されます。

2-5. DIRonSRC4137

SRC4137 の DAI のみを使用した制御用 CPU(PIC) の Integration Unit 接続対応版です。

- (1) Integration Unit との接続ポート
基板端子の P5 を用いて接続します。

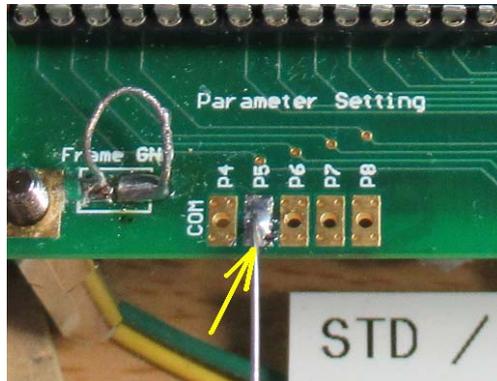


図 Integration Unit との接続端子 (P5)

- (2) ソフトウェア
PIC 表示 : DAC4499 Slave v1 (バージョンは適時変更する場合があります)



図 PIC ラベル

機能内容 : ・ Integration Unit 接続可能です (基板上の LCD ならびに LCD は使用しません)

機能追加 : ・ 初期化のコマンドを追加 (電源投入時の初期化ができなくなるため) しています。このメニューにおいて INC スイッチ (SW4) を押すことで初期化を行います。

図 新たに追加した初期化メニュー

- (3) その他

3. 編集履歴

Revision	DATE	CONTENT
R1	2020. 5. 7	初版